

約20年前、社会人駆け出しの頃の話です。当時、鉄道会社に勤務していた私は、ヨーロッパで行われた国際鉄道会議を傍聴する機会に恵まれました。最新技術や応用事例の紹介など、議事は多岐にわたりましたが、議場が最も沸くのはやはり国際列車の運行に関わること。安全対策、ダイヤグラム、入国管理方法など、鉄道でつながる国々は、議事の一つひとつが自国の経済や治安に直結するため、文字通り血眼になって主張し合います。当時の私にその様子はたいへん刺激的でまぶしいものに加え、そこに参戦できない悔しさから「日本に国際列車なんか走ってない。この会議に出る意味ありますか？」と上司に八つ当たり。すると上司は破顔一笑「大ありだよ」。その後、ふくれっ面の私を待ち受けていたのは、海外から学んだ技術を独自に高めてきたわが国の鉄道史に始まる、上司の長い長いレクチャーでした。しかし、各国の事故事例を参考にした安全対策、運行管理システムの開発・輸出等につながる世界的な技術連携の話題が出るに至っては、地続きかどうか、自国を国際列車が走っているかどうかは関係ないのだということを理解しました。各国とつながることの意味に初めて開眼した、そう言っても過言ではない出来事でした。

今月号の「メコン地域」特集にあの日の自分を重ね、一人にやけています。「国際河川も知らないのに、メコン地域に乗り出していく意味ありますか？」——いかにもかつての私なら言いそうです。氾濫や水争いを治めてきた日本の歴史までさかのぼることはできませんでしたが、経済回廊や制度を整備し、人をつくり、各国とつながる——あの日の上司と同じ程度の年齢となった今、「大ありだよ」と私も答えられそうなきががしています。

広報室広報課 佐々木美穂

《アンケートのお願い》

プレゼント付き

JICAや記事内容についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、こんな企画を実施してほしいなどのご希望もぜひお寄せください。お寄せくださった方の中から、抽選でプレゼントを差し上げます。下記項目をお書き添えのうえ、巻末のアンケートはがき、Eメール、またはファクスでお送りください。

- 氏名 ●住所 ●電話番号 ●年齢 ●性別 ●職業
- 本誌を入手した場所 ●面白かった記事 ●本誌へのご意見・ご感想
- JICAへのご意見・ご質問 ●ご希望のプレゼント番号

*お寄せくださったご意見・ご感想は、本誌やJICAのウェブサイトに転載する場合があります。あらかじめご了承ください。ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送および誌面の向上に役立てること以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◎応募締め切り 2019年8月15日

【2019年7月号のプレゼント】



①

コーヒーカップホルダー
かつて日本が支援していた「日本カンボジア友好技術訓練センター」が製作。
2名様



②

ペンケース
ラオスのカムアン県で活動中のJICA海外協力隊員が取り組む、一村一品運動に基づいて製作された、天然草木染めの手工芸品です。
2名様



③

書籍
『国境の医療者』
メータオ・クリニック支援の会 編
渋谷敦志 写真、新泉社
1名様

mundi

JULY 2019 No. 70

編集・発行：独立行政法人 国際協力機構
Japan International Cooperation Agency (JICA)
〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25
二番町センタービル
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396
URL: <http://www.jica.go.jp/>

制作協力：株式会社 木楽舎
〒104-0044 東京都中央区明石町11-15
ミキジ明石町ビル6F 『mundi』編集部
TEL: 03-3524-9572 FAX: 03-3524-9675
Eメール: ML_JICAPR@jica.go.jp

- アンケートの送付、定期送本、バックナンバーの取り寄せに関するお問い合わせは木楽舎までお寄せください。
- 本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。



定期送本のご案内

●申し込み方法

巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送本期間・送付開始月号を明記の上、所定の金額（送料+手数料）を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送の手配をいたします。入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください。

*複数冊、またはバックナンバーをご希望の場合は送料が異なりますので『mundi』編集部（木楽舎）までお問い合わせください。

次号予告 (2019年8月1日発行予定)

8月号 特集 気候変動対策

気候変動の影響によって異常気象や自然災害の増加、食料の枯渇、国土危機など、世界中でさまざまな被害の深刻化が懸念されているこの頃。持続可能な地球と社会の発展のためには、国や官民の垣根を超えた協調と結束が不可欠です。近年ますます拡充しているJICAの気候変動対策をお伝えします。



『mundi』バックナンバーはJICAのウェブサイトでもご覧になれます。

JICA mundi

検索

<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>